

## 令和7年度施設自己評価の結果について

公表：令和 8 年 1 月 21 日

事業所名

**天竜厚生会ささえ**

国から示された「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき、事業所職員が自己評価を実施しました。

事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の当会及び当事業所の運営に活かしていきます。

今後ともご家族様と共によりよい事業所を目指していきたいと思いますので、ご理解・ご協力いただきますよう、お願ひいたします。

|         |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                       |
|---------|----|---|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である  | 6  | 0   | 法定基準に則り、適切なスペースを確保している。                        |  |
|         | 2  | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切である   | 4  | 2   | 法定配置に関して、基準を満たす人員配置に加え、児童指導員や保育士職の加配を行っている。    | 今後も人材確保に努め、左記の対応を継続していく。                       |
|         | 3  | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている | 6  | 0   | 子どもの特性に合わせ場所の提供ができている。                         |  |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているまた、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                   | 6  | 0   | パーティションや仕切り部屋を活用し、集中して活動に取り組めるようにしている。         |  |
|         | 5  | 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている  | 6  | 0   | 衝立や個別ブースを活用して接触が危険とされる子どもを別にしたり、集中できる環境を作れている。 |  |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している   | 5  | 1   |  | 一人ひとりの職員が業務改善に対し、参画できるように役割分担や意識向上を図っていく。      |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている                                  | 6  | 0   | 満足度調査を実施し、保護者の意見を把握する機会を設けている。                 |  |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている  | 5  | 1   |  |  |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている  | 5  | 1   |  | 浜松市運営指導や法人内部におけるISO内部監査等を受審し、業務の見直しや改善へと繋げていく。 |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている                                     | 6  | 0   |  |  |
|         | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されている   | 6  | 0   |  |  |
|         | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している                | 6  | 0   |  |  |

|          |    |  |   |   |   |                  |
|----------|----|--|---|---|---|------------------|
| 適切な支援の提供 | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている   | 6 | 0 |   |                  |
|          | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている  | 6 | 0 |   |                  |
|          | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している  | 6 | 0 |   |                  |
|          | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 6 | 0 |   |                  |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 6 | 0 |   |                  |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | 6 | 0 |   |                  |
|          | 19 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている  | 6 | 0 |   |                  |
|          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている  | 6 | 0 |   |                  |
|          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している   | 3 | 3 | 平日は支援開始前に実施している。気づきについては、支援中や個別支援会議内での共有を図っている。 | 今後も左記の対応を継続していく。 |
|          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | 6 | 0 |   |                  |
|          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている  | 6 | 0 |   |                  |
|          | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っている  | 6 | 0 |   |                  |
|          | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている   | 5 | 1 | 実物、写真、イラストなどで自己選択や決定が行いやすいような環境にしている。           | 今後も左記の対応を継続していく。 |
|          | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画している   | 6 | 0 |   |                  |

|              |   |   |   |   |  |
|--------------|---|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている                               | 6 | 0 |   |  |
|              | 28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている                  | 6 | 0 |   |  |
|              | 29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                                 | 3 | 3 | 利用者が小学校高学年以上であるため未就学時の支援機関との連携は少ないが、アセスメントや相談支援専門員との連携を介して情報収集に努めている。 | 今後も左記の対応を継続していく。                                     |
|              | 30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している                         | 6 | 0 |   |  |
|              | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている                                  | 4 | 2 | 地域内（浜松市旧南区）に児童発達支援センターが整備されていない。                                      | エリアの自立支援連絡会に参画し、ワーキングを通じて連携体制の確立を目指している。             |
|              | 32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がある   | 2 | 4 |   | 学校休業日等を活用し、地域の子どもだけではなく、外出活動を通して、多くの人と交流する機会を確保していく。 |
|              | 33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加している  | 6 | 0 |   |  |
|              | 34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている   | 6 | 0 |   |  |
|              | 35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている             | 3 | 3 | 卒業後の進路を見据えた、福祉事業所の見学を実施している。相談対応については個別で対応している。                       | 今後も左記の対応を継続していく。                                     |
|              | 36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 6 | 0 |   |  |
| 保護者への説       | 37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている       | 6 | 0 |   |  |
|              | 38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている                               | 6 | 0 |   |  |
|              | 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている  | 6 | 0 |   |  |
|              | 40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているまた、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている | 1 | 5 |   | 保護者からの意向が無いため、今後も積極的な実施は検討していない。                     |

|                             |    |  |   |   |  |  |
|-----------------------------|----|--|---|---|--|--|
| 明<br>責<br>任<br>等            | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | 6 | 0 |  |  |
|                             | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している         | 6 | 0 |  |  |
|                             | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意している  | 6 | 0 |  |  |
|                             | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている  | 6 | 0 |  |  |
|                             | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている  | 2 | 4 | エリアにおける自立支援連絡会地区部会にて、構成員（民生委員など）が来所し見学を予定している。 | 積極的に見学対応等、地域住民が事業所のことを知ることができる機会を確保していく。 |
| 非常<br>時<br>等<br>の<br>対<br>応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している  | 6 | 0 |  |  |
|                             | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                        | 6 | 0 |  |  |
|                             | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している  | 6 | 0 |  |  |
|                             | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 6 | 0 |  |  |
|                             | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている                     | 6 | 0 |  |  |
|                             | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している                        | 6 | 0 |  |  |
|                             | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている  | 6 | 0 |  |  |
|                             | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 6 | 0 |  |  |
|                             | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | 0 |  |  |

